

子どもがかかりやすい感染症と気をつけたい病気一覧表

重要保存

あけぼの保育園

感染症・・・※登園基準は医師の許可が出るまでとする。

病名	潜伏期間 (体に症状がでるまでの期間)	注意事項等
麻疹（はしか）	10日～12日	感染力が強く、重症な病気です。ワクチンを打つことで予防できる病気です。
水痘（みずぼうそう）	2週間	水痘には1度しかかかりませんが、後に体内に潜っていたウイルスによって帯状疱疹を発症することがあります。
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	16日～18日	合併症として200～600人に1人で難聴があると報告されています。
風しん（3日ばしか）	2週間～3週間	妊娠初期に妊婦が風しんにかかると、赤ちゃんは奇形ができて生まれてくることがあります。
百日咳	6日～20日	感染力が大変強く、咳や鼻水などで感染します。
伝染性紅班（りんご病）	4日～20日	両側のほっぺたが赤くなり、腕や太ももに赤い発疹がみられます。
インフルエンザ	1日～3日	突然の高熱で3日目頃から咳がひどくなります。
咽頭結膜熱（プール熱）	5日～7日	咽頭から2週間、便から4週間アデノウィルスが出ます。
流行性結膜炎（はやり目）	7日～14日	感染力が強く家族にも感染します。タオル等の共有は止めましょう。
ヘルパンギーナ	2日～10日	夏風邪の代表選手です。繰り返しかかることがあります。
手足口病	3日～7日	夏～初秋に流行します。
溶連菌感染症	2日～5日	腎炎を起こす可能性が高いため医師に指示された期間は抗生剤を中断せずに飲んでください。
伝染性膿痂疹（とびひ）	3～6日	高温多湿の季節に、子どもがかかる皮膚の感染症です。
伝染性軟属腫（みずいぼ）	2週間～6週間	ケシ粒～米粒くらいの大ささのいぼで皮膚がこすれ合う部分に多くできます。
突発性発疹	3日～7日	乳児が初めて発熱するときに、よく見られる病気です。5ヶ月ころから2歳までにかかります。